

交通インフラと地域創生 ～航空・空港、クルーズ・港湾の果たす役割～

日 時 2017年11月2日(木) 開場15:30／開会16:00 (18:30終了予定)

会 場 WTCコンファレンスセンター(浜松町世界貿易センタービル)38階フォンテーヌ
(JR山手線／京浜東北線・東京モノレール「浜松町」駅と直結、都営地下鉄「大門」駅と直結)

主 催 航空政策研究会

後 援 一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所

平成27年国勢調査は、すでにわが国が人口減少社会にあることを明らかにした。地方においては高齢化に大都市圏への流出も加わり、人口減少はますます深刻になっている。そのなかにあって観光が「真にわが国の成長戦略と地方創生の大きな柱」(平成28年3月「明日の日本を支える観光ビジョン」)となるのは、交流人口の拡大に対する期待からである。

航空は空港を起点として国内外を問わず広くネットワークを形成し、交流人口拡大のためには必要不可欠な担い手である。実際に、現在の訪日外国人増加の背景には、航空座席供給量の増加がその一因として挙げられている。他方、航空需要は派生需要が中心になっていることもまた事実であり、就航地における本源的な目的の増加や多様化が路線や便数の増加に寄与する。ビジネスや観光をはじめ本源的な目的は、人びとに各地への訪問意欲を喚起させる。これがなければ、航空路線があっても地域の振興や交流人口の拡大は望めない。すなわち、航空・空港と各地域におけるさまざまな取組みが両輪となって機能することが、地域活性化に求められるのである。

現在、各地で進む空港経営改革の目的は、航空ネットワークの充実や内外の交流人口拡大等を通じた地域活性化にあるといっても過言ではない。なかでも、震災により甚大な被害を受け、すでに民間事業者が空港運営を担う仙台と民間委託を推進する熊本の取り組みは、震災からの創造的復興の象徴と位置づけられている。

また、近年増加するクルーズ船の寄港には経済効果のほか文化交流といった効果も期待され、「明日の日本を支える観光ビジョン」においては、「北東アジア海域をカリブ海のような世界的なクルーズ市場に成長させ、クルーズ船寄港を活かした地域の創生も図る」とこととされている。

本年の航空政策研究会航空シンポジウムでは、「交通インフラと地域創生～航空・空港、クルーズ・港湾の果たす役割～」と題して、熊本空港の民間への運営委託の方針を表明した蒲島熊本県知事の基調講演からはじめ、空港経営改革やクルーズ拠点といったインフラ整備と運営を主テーマとし、また、それらの利用者動向やニーズにも触れながら訪日観光客が地域創生に果たす役割、期待等について産官学の視点から活発な議論を進めたい。

プログラム 15:30 開場／16:00 開会挨拶

16:05～ 第Ⅰ部 基調講演

『熊本地震からの創造的復興に向けて』(仮題)

蒲島 郁夫 熊本県知事

17:00～ 第Ⅱ部 パネルディスカッション

『航空・空港、クルーズ・港湾の地域に果たす役割』

・パネリスト (五十音順・敬称略)

蒲島 郁夫 熊本県知事

高橋 進 株式会社日本総合研究所 理事長

武井 健一 株式会社JTB首都圏 クルーズ事業部 事業部長

波木 恵美 鬼怒川グランドホテル夢の季 代表取締役社長

・コーディネーター

山内 弘隆 一橋大学大学院商学研究科 教授(航空政策研究会 会長)

基調講演・パネリスト



蒲島郁夫 (かばしま いくお) 熊本県知事

1965年熊本県立鹿本高校卒業後、地元農協に勤務、1968年に農業研修生として渡米。1974年米国ネブラスカ大学農学部卒業、1979年ハーバード大学大学院修了、政治経済学博士。1991年筑波大学社会工学系教授、1997年東京大学大学院法学政治学研究科教授を経て、2008年東京大学名誉教授。同年4月熊本県知事に就任、現在3期目を務める。

パネリスト (50音順・敬称略)



高橋 進 (たかはし すずむ) 株式会社日本総合研究所 理事長

一橋大学経済学部卒業後、住友銀行(現三井住友銀行)入行。1990年日本総合研究所調査部主任研究員へ。調査部長、理事を歴任後、2005～07年内閣府政策統括官(経済財政分析担当)。日本総研へ副理事長として復帰後、2011年11月理事長就任(現在に至る)。安倍内閣の発足に伴い復活した経済財政諮問会議、および、新たに創設された人生100年時代構想会議の民間議員。



武井健一 (たけい けんいち) 株式会社JTB首都圏クルーズ事業部 事業部長

慶応義塾大学文学部卒業。一般支店、在外支店、教育旅行専門支店、提携販売支店に勤務。東日本海外旅行仕入販売部企画管理課長、JTB国内旅行企画東日本事業部業務管理部長、大宮エリア統括部長を経て、2017年2月より現職。日本旅行業協会クルーズ旅行促進部会委員、日本外航客船協会客船事業振興委員会委員。



波木恵美 (なみき えみ) 鬼怒川グランドホテル夢の季 代表取締役社長

立教大学法学部卒業。広告会社勤務を経て実家鬼怒川グランドホテル入社。北京で起業。2004年鬼怒川・川治温泉観光協会インバウンド誘致委員会初代委員長。日本政府観光局(JNTO)評価委員会臨時委員、栃木県国際観光推進協議会インバウンド専門委員会委員長等を務め、現在、高千穂大学アジア研究交流センター客員教授、各旅行会社のインバウンド委員、福島空港有識者懇談会委員、観光まちづくりネットワーク鬼怒川代表、鬼怒川流域DC推進協議会会長。VISIT JAPAN大使。

コーディネーター



山内弘隆 (やまうち ひろたか) 一橋大学大学院商学研究科 教授

慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得の上退学。中京大学商学部講師、経済学部講師、一橋大学商学部助教授等を経て現職。2005年1月～2008年12月一橋大学大学院商学研究科長兼商学部長。交通政策審議会航空分科会会長、鉄道部会副部会長等を歴任。現在、財務省財政制度等審議会委員、総務省情報通信審議会委員、資源エネルギー庁調達価格等算定委員会委員。著書『航空輸送』、『講座・公的規制と産業④交通』、『航空運賃の攻防』、『公共の経済・経営学』、『運輸・交通インフラと民間活用』等。

【申込方法】 当会ホームページ <http://www.koseiken.jp/> よりご登録ください。

定員になり次第、締め切らせていただきます。

航空政策研究会事務局 ☎03-5418-7747
jimukyoku@koseiken.jp